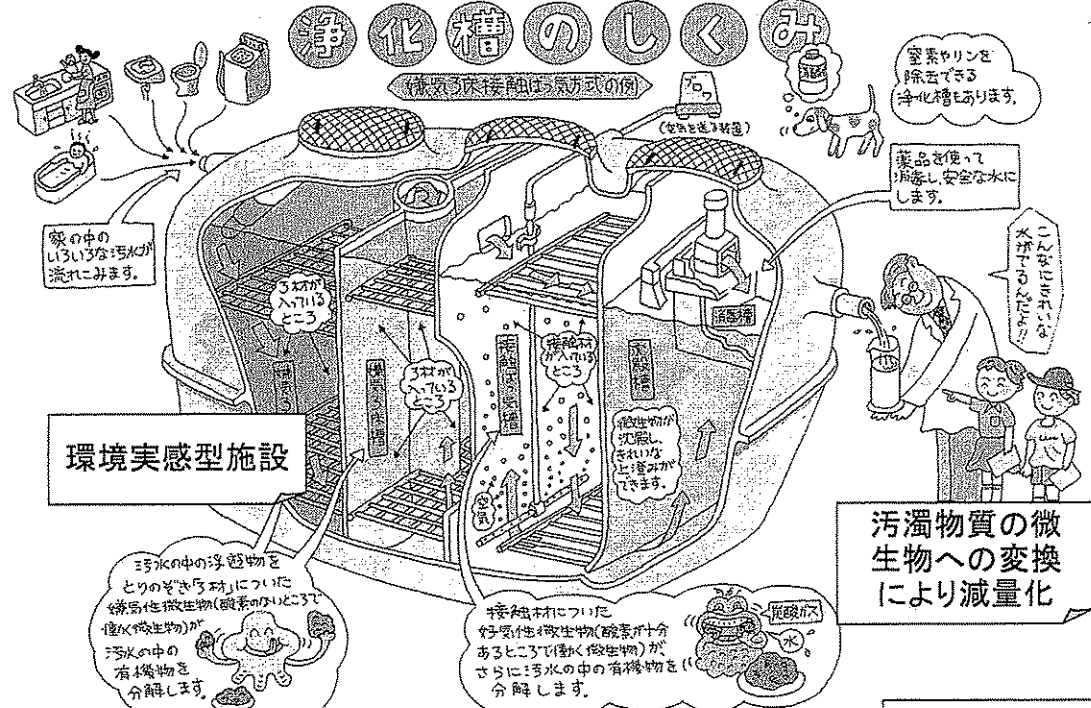


参考資料

・浄化槽の特徴について	・・・	1
・浄化槽の普及の推進について	・・・	2
・持続的発展が可能な社会に対応した浄化槽システムについて	・・・	3
・し尿処理・浄化槽関連年表	・・・	4
・第三次環境基本計画（水循環部分抜粋）	・・・	12
・循環型社会と3R	・・・	13
・京都議定書目標達成計画の骨子	・・・	14
・汚水処理人口普及状況（平成17年度末）	・・・	15
・汚水の処理に関する費用（「汚水処理原価」）の比較	・・・	16
・国（政府）の予算と国債・税収の推移	・・・	17
・国（政府）と地方（自治体）の長期債務残高	・・・	18
・日本の将来推計人口	・・・	19
・浄化槽による排水中の汚濁物質の減量化	・・・	20
・浄化槽の設置基数の推移	・・・	21
・生活排水処理基本計画策定状況について	・・・	22
・都道府県構想策定状況について	・・・	23
・小規模事業場における汚濁負荷の実態について	・・・	24
・閉鎖性水域における窒素・リンの状況	・・・	26
・都道府県別運搬車等台数	・・・	27
・浄化槽の海外展開について（概要）	・・・	28
・浄化槽専門委員会委員名簿	・・・	29
・浄化槽専門委員会における審議経過（平成18年度）	・・・	30

浄化槽の特徴について

浄化槽のしくみ

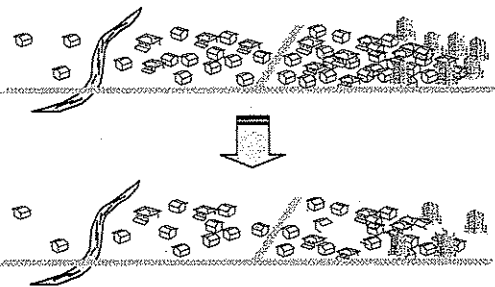


環境実感型施設

汚水の中の浮遊物をとりのぞき、砂りについた嫌気性微生物(酸臭の原因)と汚水の中の有機物を分解します。

浄化槽内には、好気性微生物(酸素が必要)と嫌気性微生物(酸素が不要)がおり、汚水の中の有機物を分解します。

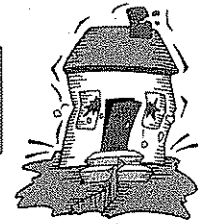
汚濁物質の微生物への変換により減量化



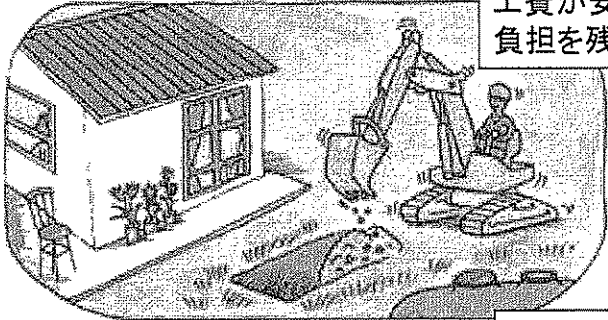
個別分散型施設で人口減少に柔軟に対応

処理性能を担保する体制

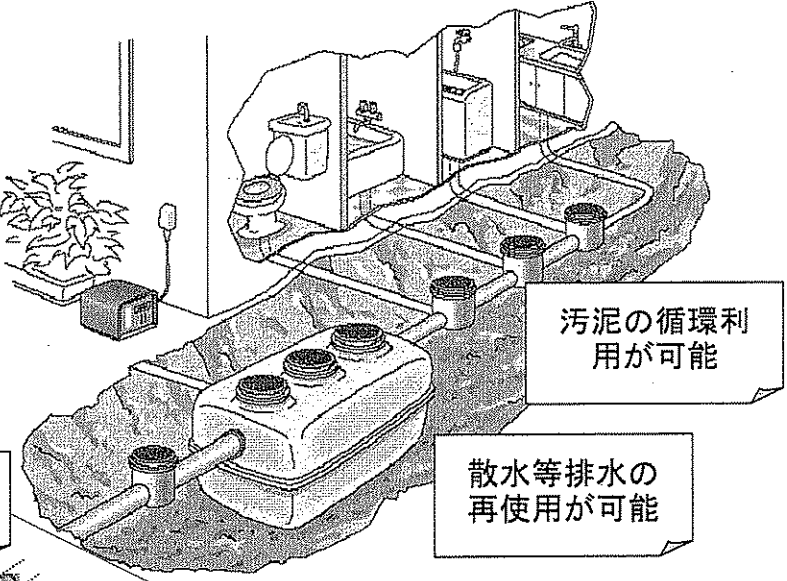
災害時被害が地域に影響せず修復が容易



車一台分の大きさで地形の影響が少ない



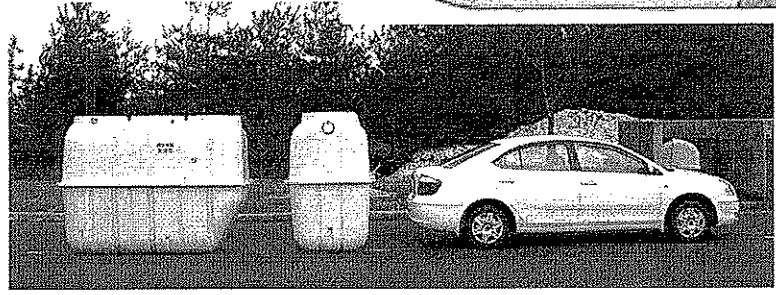
工費が安く後に負担を残さない



汚泥の循環利用が可能

散水等排水の再使用が可能

排水により水循環を良化



自然の浄化作用も利用した二重の浄化作用

他の汚水処理施設と同等の処理性能

浄化槽の普及の推進について

浄化槽整備の推進

今後は浄化槽に適した中山間地域での整備が重要

しかし、浄化槽の整備の進捗は遅い

浄化槽の特徴を踏まえた整備に見直し

環境問題・教育に対する国民意識の高まり

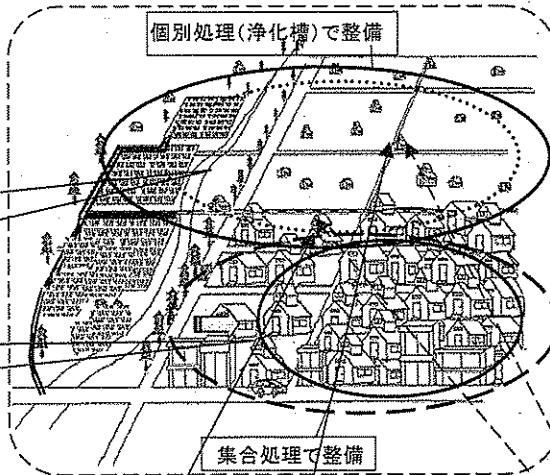
しかし、浄化槽への住民の関心は低いまま

住民参画による浄化槽の普及促進

市町村の整備計画の見直しに専門家のアドバイス



個別処理(浄化槽)で整備



施設整備計画について住民と共に検討



浄化槽普及についてNPO等との連携と交流の場の創設

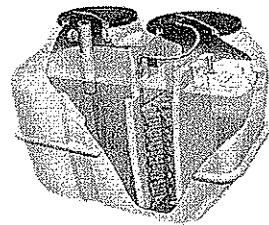
集合処理の残りの部分

↓
浄化槽に適した地域を整備

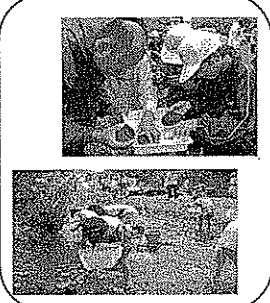
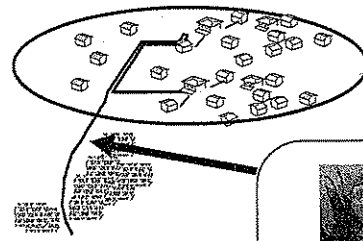
人口減少社会に合わせ、将来の更新を考慮した効率的な整備計画の策定

集合処理で整備

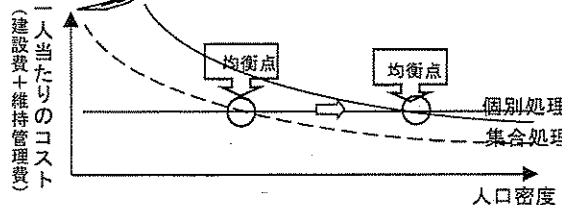
個々の浄化槽の設置に省エネ等も含め専門家のアドバイス



環境だけでなく整備に悪影響を及ぼす単独処理浄化槽



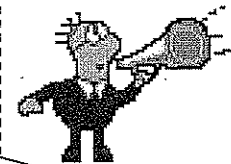
環境保全上の必要性からの普及の住民理解促進



※下水道、農業集落排水⇒「集合処理」
浄化槽⇒「個別処理」



単独処理浄化槽の撤去支援



浄化槽と単独処理浄化槽の環境上の違いを周知



持続的発展が可能な社会に対応した浄化槽システムについて

